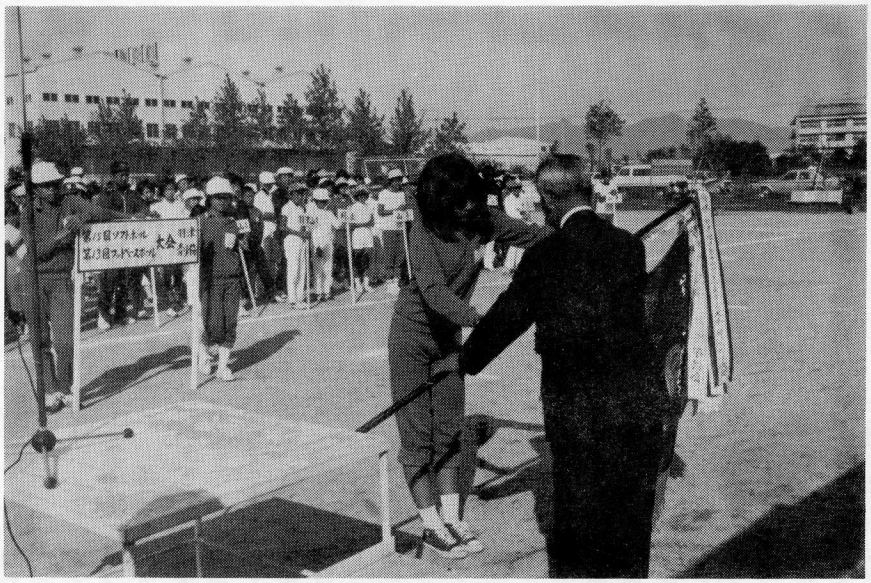
羽津青少協だより

発行者
会長　藤井泰治郎
編集責任者
広報部長　石丸照子

目次

羽津地区自治会組織について……1
地区広報の発刊を祝う……2
羽津地区青少協広報発刊によせて……3
雑感……5
ジュニア・リーダー育成について……6
健全育成はみんなの手で……7
五十一年度事業報告……11



羽津地区球技大会（八月八日）

羽津地区　自治会組織について

連合自治会副会長　味香太郎

「智に働けば角が立つ。情に棹をさせば流される。意地を通せば窮屈だ。とかく人の世は住みにくい。」

夏目漱石の草枕の冒頭の一節ですが、あまりに住みよい世の中ではない。その住みにくい世の中を少しでも住みよくしたいと思う人々の心が、自治会を組織しようと考えられたのではないでしょうか？

この組織には、法的根拠はないのです。従って、不思議な御縁で向三軒両隣に住みつくようになったお互が、少しでもその環境なりともよくしたいという願いから、自然発生的に生まれたものと思われます。その心が組を作り、町自治会を作り、地区連合自治会を作って今日に至ったものと考えられます。

環境をよくするために最近まで「道直し」といって、年に一回町民総出で道路修理をしたものですが、最近では自治会の強い要望により市が道路の舗装をし、側溝の整備をしてくれたので側溝の清掃に出る位になりました。

併し、近年羽津地区が市街化するにつれ、雨水、下水、浄化槽等の排水処理問題、幼稚園、保育園から義務教育の小、中学校、公民館の新設、改築等問題は山積しておりますが、それを除々に市当局、又は国、県に対して解決を追って行くのが自治会なり、連合自治会の役目だと考えられるのです。そのため自治会は、地区選出の県会議員、市会議員の方々のご協力を得て、その対策に腐心しております。

尚、連合自治会は、消防費をはじめ水防、防犯、学校、社会教育費などの予算を組み、あらゆる教育、社会福祉団体の補助育成をはかっております。

どうか皆さん、自治会の真意をご理解下さって、一層のご支援、ご協力をお願いします。

地区広報の発刊を祝う

青少年対策課長　斉藤正男

育成者の皆さんは、平素から青少年育成の趣旨をご了解いただき羽津地区の子ども達が集団活動を通じて社会性を育てるために指導を続けておられますことに敬意を表しますと共に、厚くお礼申し上げたいと存じます。

青少年問題は、何時の時代においても、時代の社会的背景によっているといわれます。今日では、氾濫する情報、価値基準の多様化高学歴化と進学、豊かな消費生活などの社会的現象が、青少年の生活に様々な影響を及ぼしていることは明らかです。

例えば、「余暇」について見ても、昭和五〇年の週休二日制の導入傾向は、企業で四十四%の割合を示していますが、大人の余暇活動の影響は小中学生にも及んでおります。即ち、土曜と日曜では大体六時間から九時間程が余暇時間として使われ、そのうち交際やレジャー活動には、約四時間となって、主として、休日では「行動型」余暇の増加傾向が指摘されております。こういった時代の流れに対応して、次代を託する青少年を育成していくには、青少年自らの自主活動が大事なことは勿論ですが、これを助長し、誘導する社会教育の果たす役割が大きくなって来ているといえます。育成には、したがって、行事は量より質を求め、育成者は指導者として位置づけされる時代が来ているように思います。幸い羽津地区はジュニア・リーダーがたくさん育てられて指導、育成の態勢が着実に整えられつつあることは、誠に喜ばしいことと思います。この育成への萌しが広く厚い層にふくれ上ることを祈念してやみません。

羽津青少年育成協議会とは！

青少協副会長　奥　高一

昨年は、青少協におかれまして育成者諸氏の若返り、スタートし早や！一年経うとしておりこの間の諸々の子ども会活動等を若さとボランテアー精神に基づいて、支えてきたこの一年間だったが、これも各町育成者諸公の奉仕と真心と思います。会議の出席率は其のつど一〇〇%　諸々の立案意見等年間行事を通じ、休みなく青少協を盛り上げて戴き、その根源は、地区有識者の皆さんは、もちろん地区社会福祉協議会三役の方々各町自治会長さんの地区を愛する地区ぐるみの暖かい御理解と御援助の賜ものであります。心より厚く御礼申し上げます。

さて、青少協とは……今から数年前に単位別の育成お世話さして戴いた頃より、どんな組織でありなんのタメに、活動しているのか、教育の延長か、私なりに疑問いだいた一人であり又ほかにも（地区外）私と同じ考え方の人もおられるのでは！ないだろうかという事から私なりの考え方、あり方について市連協、各町の考え方と恐らく一致しない点もありましようが

子供会活動がこゝ数年前から他方面からその必要性が認識され現在にいたっていると思います。

戦後三〇余年日本経済は世界に例のない高度経済成長に発展し世界有数の経済大国にのしあがり国民の生活は、戦前と比較にならない程物質的に豊かになったが、その反面現在の教育はどうか……教育の過密化、過保護により、激動する社会の荒波に対処できない青少年達を非行化へ、又受験ノイローゼ　自殺へと追いこんでいるのが現在の社会といっても過言ではないでしょうか？

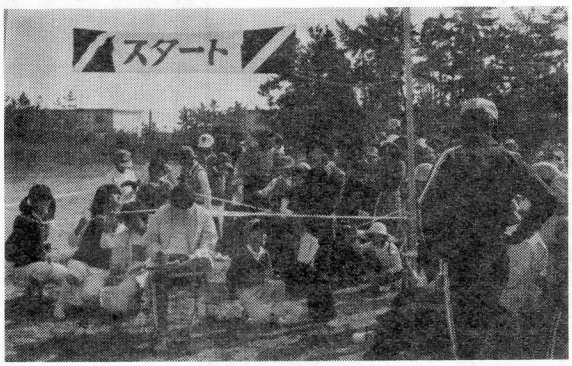
学問が良く出来るが、その反面社会性にとぼしく人間形成の過程では非常に障害になっているのでは…ないだろうか。現在の教育に欠けている道徳心、健全豊かな規律正しい集団生活態度を養うことを目的としているのが、子供会活動と申し上げ度い。

青少年が心身共に、健やかに育つには先ず明るい家庭の環境づくりが第一条件ではないでしょうか。

毎日めまぐるしく変化し、複雑、多様化した社会に対処できるよう推進委員の指導助言を中心に各種団体、家庭、学校、地域社会等と友誼的な連携を強化し、総ぐるみの運動を躍進することを望みます。

〃たえず子供に目を向け折りあるごとに対話、ふれ合いの時間…を

〃羽津地区青少年育成協議会は、「日本一」だと、胸を張り度い…努力しようではありませんか。



羽津地区OL大会（十一月三日）

羽津地区青少協

広報発刊によせて

四日市市青少年育成推進員
四日市市議会議員　森　安吉

この度羽津地区青少年育成協議会が広報発刊の運びとなりました事は、誠に意義深い事とご同慶に堪えません。

申すまでもなく、今や青少年の健全育成に関する問題は、ひとり我が国だけの問題では無く、世界各国でも重大な関心ごととなっています。

ゆがめられた自由の旗印のもとに、社会道徳や、他人を顧りみない若者が急増しつゝある事は誠に嘆かわしいことであると思います

当市では、少年センターを中心に警察、学校、各地区の補導育成機関のご協力によって、毎日懸命の働きがなされていますが、それに反比例して、非行者の補導件数は増加の一途を辿っているように聞いています。

羽津地区では、市内でもいち早く育成会や補導委員会が結成組織化され、すでに二〇年を経ております。その目に見えない功績も誠に絶大なものであると信じています。しかし、残念ながら決して満足すべき現状でない事も認めざるを得ないと思います。

「非行の芽は、小さいうちに摘み取れ」は十数年からの私共関係者の相ことばであり、早期発見を心がけての補導は、補導者側の鉄則でありました。そして大事件に発展しそうな小さな出来ごとの一つ一つを見逃さず、細やかな注意を呼びかけて来ました。

最近の非行の実態の特徴的なものの一つに万引等の事犯の低年令化があります。小学校の低学年児にもこういった非行が多く発生していると聞いています。

これらの非行の絶滅には、事件の発見を端緒に指導を試みるのでは遅すぎます。むしろそれ以前の問題を重視しなければなりません。幼児に対する親の躾の問題であります。

社会道徳や善悪をわきまえた人の道をどう教えるかを問題にしなければならないと思います。

今回の広報発刊の意味をこういった観点から握えてみる時、誠に意義深い事と考えます。広報の内容の中に是非とも若い両親を対象にした子どもの躾のあり方を論じたものをたえず取り上げていただきたいと思います。

もう一つの提言として、性に関する問題があります。今や性道徳の乱れは極限にあるように思われます。書店に氾濫するいかがわしい雑誌類、性器具の自動販売機、ポルノ映画のどきつい看板等、このままではどこまでエスカレートして行くのか窮極のない現状であります。こうした環境に刺激を受けるのは若者である以上当然であり、この事の責任はむしろ大人の側にあると考えます。良識ある大人の集団の力で世論を喚起し、政治を動かして、どうしても環境浄化につとめなければなりません。

現在、新聞等でご承知のように当市の各機関では、これらの除去に対する真剣な運動が展開されています。

本広報が地域住民の意志を反映して、有害物の除去に先鞭をつける役割をぜひ果してほしいものだと考えます。

羽津青少協広報発刊の意義を以上二点から考えてみましたが、今後共、社会や国をよりよい方向に発展させる為に、みんなの力で青少年の健全育成の問題に真面目に取り組んでいきたいと思います。

内外陶磁器製造販売
合資会社　榊原窯業所
金場町1－11　TEL 31－4421

シーリング印刷(接着ラベル)
その他各種印刷
出口印刷
四日市市八田1丁目3-3　TEL 31－7724

アフターサービスのゆきとどいた
ナショナルショップ
㈲黒宮電器店
四日市市別名2丁目2－8(緑ケ丘北)
TEL 31－7922

順不同

参加と努力

別名　服部一二

小生は、今度初めて育成者町代表になりましたが、いかに重要な大変な役割であるか痛切に感じさせられました。

子ども達は、積極性をもち、溢れんばかりのエネルギーのはけ口を求めていることも知りました。それをどこへ発散させてよいか、子ども達は知りません。

子ども達が善悪を判断出来るようになるのも、仕事を尊敬し、弟や妹の面倒をみ、又、力に応じて兄や姉の手伝いをするようになるのも、皆様方の家庭にあると思います。

現代の中学生のエネルギーは、あるのかないのか判断しかねます義務感、責任感、正義感、すなわち、子どもの道徳的資質の育成は、家庭の協力や努力がなければならないと思います。

生活の一歩を踏み出しながら大した理想も持たずに狭い視野で自分の利益しか考えない青年を見かけますが、全くにがにがしい思いがします。これらの青年は、労働をきらい、社会全般の利益には無関心で、彼らは外国のものには何でもかでも頭を下げ、ブルジョア的個人主義、虚無主義に簡単におぼれてしまいます。

家庭の主な任務は子どもに着物を着せ、食べさせることであり、その他は学校でやってくれるものだと思っている人が、現代の親には多いのではないでしょうか？

このような家庭の子どもは、悪の影響にそまりやすく、いたずらや、乱暴な遊びをし、次第に不良化し、学校や家庭を離れ、いわゆる「手におえない」子どもになるのではないでしょうか。

子どもをあまやかしすぎたり、放任しすぎたりすると、子どもを社会人として、不具者としてしまうばかりの、犯罪者にもしかねないのです。在学期間中に、精神形成が行なわれ、判断力が養われ、信念がきずかれ、社会に対する態度が育てられます。在学期の子どもに対して親がおかした教育とのあやまちは、子どもの将来の生活に影響を与えます。このあやまちがどれほど矯正しにくいか、よくお考え下さい。

〃鉄は熱いうちに打て〃の言葉がご座いますが、地区民の皆様の最上のご協力をお願い致します。

他人に迷惑をかけない、ボランティア精神にとんだ集団生活を得たならば、将来何の抵抗もなく、しっかりした家庭を築きます。

逆に子どもがエゴイストとして成長した場合には、家庭や社会の将来は悲劇が絶えないと思います。

少しでも立派な集団生活が出来る子どもに育てられるように、青少年育成協議会を通じて協力し、進んで参加出来るように、皆さん努力しようではありませんか。

母さんとともに がんばろうね

山手中学校長　豊田量雄

山手中学校の分校みはと学園に言葉もろくに言えない、手足も不自由な小中児童生徒が二十九名、毎日苦しいながらも、楽しい明るい学校生活を送っています。そして、将来への見通しもない、本当に苦悩の人生を背負いながらも、きょうの一日を十分に生き、明日へ明日へと親も教師も生徒も、一体となって生きているのです。この学園のあるお母さんが、子に次のような手紙を通してねがいを訴えております。

「敏子よ、ごめんなさい。母さんが無力のため、言葉もいえない手足も不自由なお前を、つらいめに合わせつづけてきたようですね。生まれて十九年。敏子よ楽しかった事がありますか、生きがい

時計・宝石・メガネ
一級技能師・眼鏡調整士の店
大庭時計店
金場町1－48　TEL　31－4904

贈答品　アラキヤ西店
アラキヤ東店　日曜大工用品
TEL　31－2200(代)

和洋酒・食料品
イト金酒店
山手町　TEL 31－7637

建設業　市林組
代表者　市林　肇
四日市市羽津町18-6　TEL　31－5419

順不同

を感じていますか。母さんはお前のためになにをしてやったらいいのでしょうね。母さんはお前の幸せをいつもいつも願っているのですよ。みはと作業所も皆んなの努力でできました。みはと学園を卒業したら、いよいよ社会への第一歩、母さんとともにがんばろうね。」（みはと第三集掲載）

身体的にも、精神的にも普通の子どもをもつ親は、このお母さんのように「母さんとともにがんばろうね。」と思ったことがあるでしょうか。手足の不自由な子の親は、その手足の支えとなり、口の不自由な子の親は、その口の支えとなって共にがんばるのですが、あなたは自分の子どもの何の支えとなって、がんばったらよいのでしょうか。ひとり立ちになるまで、親はどんな支えをしていったらよいのか、その支えをどんなふうにとりはずしていったらよいのか、子どもの支えになることは、過保護にすることではありません。時には近くに引きよせ、時にはつき離し、これを子どもの成長の上に、親の計画の中にしていくことこそ、子どもとともにがんばる姿だと思います。肢体不自由な子どものお母さんの真心からの叫びを、私たちも自分の子どもに叫びましょう。

そして、健全な成長のため、親は子どもとともにがんばりましょう。

一年間の反省

羽津山町　竹内　保行

町育成代表、こんな大任を引き受け、どうなる事かと無我夢中での一年間でした。

幸い羽津山町では自治会始め、多勢の方々の御支援、御協力を得る事が出来、前任の方々の残こされた良き組織にも恵まれ、各行事も無事に過ごす事が出来ました。

雑感

県会議員　谷　嘉昭

親は子を、社会は次代を担う青少年を健全に育成する責務があり最近のめまぐるしく変化する複雑かつ多様化した社会に適応できない青少年が増化していると言われます今日、私達の使命は重大であります。三重県の新年度予算は二、四一八億八千万円で前年比十三、七％の増であり福祉、教育、防災、医療を最重点として、とりわけ教育費に七八一億八千八百万円を計上し青少年の健全育成を県政の中心的目標としています。また今議会において青少年の福祉を阻害するおそれのある行為を防止し、青少年の健全な育成を図るため青少年保護育成条例の一部を改正して一層その健全育成をはかります。また「自分の子にかぎって」とか、やゝもすると過保護、過干渉となりすぎたり、一方において無関心、放任となり益々子どもたちを非行に追いやっている問題等、各自が青少年の健全育成に対する正しい理解を深めなければなりません。学校を含めた行政、地域社会、そして家庭がそれぞれの分野で役割分担を明らかにして相提携することにより協同して次代を担う青少年を心身ともに健やかに育成していくことができると思います、最後に皆様方の平素のご尽力に感謝申し上げ、今後一層青少年の健全な育成にご活躍いたゞきますようこころからお願い致します。

四日市市南いかるが町6－3
日本粉体化学合資会社

四日市市羽津山町
華月陶園
TEL　31－6037

万古急須・朱泥・黒泥製造
株式会社　南景製陶園
四日市市八田二丁目1－10
☎〈0593〉31 0528・5715・8422

ナショナルショップの店
アフターサービスの行きとどいた店
羽津山電器商会
四日市市羽津山町10－39　☎31－4504

順不同

一年省りみて反省する事も多く改めて五十二年度は、一歩でも前進出来る様に、したいものと思っています。

「子供会は子供のもの」

大人の都合の良い、大人中心の子供会になっては、いなかったか？子供達と話し合い、子供達の創意工夫を取り入れる事　一番大切な事が少なかったのでは、ないか。

「地域の連帯感」

子供会行事を通じ、一人でも多く町内の方々に一諸に参加していたゞき　子供会活動を知っていたゞく努力が、足りないのでは、なかったか？

今回の青少協広報発行は　活動PRになり、是非発行回数を、増していたゞければ、嬉しい事です。

「中学生の参加」

身体も精神的にも小学生と差が有りすぎ、一諸に参加するという事は、難かしい事ですが、多くの方の知恵を借り、努力していきたいと思っています。その他、考えると反省、後悔ばかりですが、一年の経験を生かし、少しでも前進出来る様、努力したいものです。

ジュニア・リーダー育成について

指導部長　長島　敏

平素は、地区子供育成活動に際し、御協力頂き誠に有難度う御座居ます。

永年、子供の「健全な育成」と云う具体的目標が、親と地域社会の願望である今日、育成者自身一人一人がどの様な方法でどう活動すれば、この願いが達成出来るか皆さんと共に、真剣に取組んでいかなければならない問題ではないでしょうか。

子供会活動は、青少年問題の解決の一つの方法であります。

諸先輩方の、地区子供会の組織作り、活動路線を敷き育てゝくれた子供会を更に、発展させるためには、子供会指導者（ジュニアリーダー・シニアリーダー）の発見。養成が必要とされるのです。

現在、地区ではジュニアリーダー（年少指導者＝高校生＝十二名）シニアリーダー（一般＝十名）がいます。

勉強もし、遊びたい年代でもあり、少しでも地区子供会活動に奉仕する、という気持を大切に育てていかなければならないと思う。

リーダーになるために、市のリーダー講習会・実技指導に積極的に出席し、地区子供会活動の目的を容易に達成し得るための、良き助言者になるわけです。

もっと多くの指導を養成し、子供会＝指導者＝育成者、三者が協同し、一体となり町及び、地区単位の行事の企画・活動等が出来るような体制作りを推進していかなければならないと考へる。

多くの人達に接し、自分自身を磨き、良き人間関係を作り、一歩一歩人間生長をしていく子供会に育てたいと思う。

又、各機関、各種団体、各層とのコミュニケーションを強力に推進し、総合的な見地に立って、地区育成問題についての協議・実践の場を設け、「地域ぐるみの育成運動」を盛り上げようではありませんか。

皆さんの御理解・御協力を切に御願い致します。

子供は親にならう

八田二丁目　後藤　貞吉

「もう六時半だよ。姉ちゃん、もう六時半だよ。」　末子の正巳が二階の姉たちを起こす。ねむい顔をした姉たちが起きてきて、庭で親子五人のラジオ体操が始まる。去年の夏休に子供会の役員として小学生のラジオ体操の面倒をみて

浄水剤製造
伯東ナルコ化学株式会社
四日市工場　四日市市羽津別名6－5－7
電話　〈0593〉31－8357

五徳ハイティーキャップ
製造発売元・実用新案特許4件
有限会社 丸栄竹尾商店
四日市市羽津中1丁目5-23　☎31－3896(代)　☎31－5426

—確かな技術で明日を考える—
富士電機製造㈱三重工場
四日市市富士町1－27　TEL 31－6111(代)

順不同

以来、夏休が終ってもわが家では続けている。冬の間は中断したが又、三月になってから再開した。最初は自分が子供たちを起こし、又、起きてこない時は一人でもやっていたせいか、最近では子供たちにときどき起されることがある。

「さゞえさん」「ダンカードA」等、　日曜日にかぎらず夕方六時からのテレビ番組に子供たちは釘づけである。「宿題はすんだのか」と聞いても返事がかえってこない事が多い。自分でも好きな番組のとき、妻の「御飯ですよ」と言う声を聞きのがすこともあり、悪いくせは親に似るのかなと思い、少しでも良い方向へと思って始めたラジオ体操が、まがりなりにも続いている。

会社勤めで長くなるが、仕事が深夜に亘る時でも、自分の勤めとして全然苦にならない自分の性格が、生れが農家で親が雨の日も休むことなく働いているのを子供なりに見て、又忙がしい時には手伝いをした事などからつちかわれたと思うとき、親が身をもって教えるという家庭教育について十分考えなければならないと思う。

子は親にならう。又友達からならう事も多い。子供の悪いくせが親からならったのであれば、親が自からなおす必要があり、又子供自身が判断出来ない悪い事は、それが悪いのだと判断出来る様に、たまにはゲンコツも必要と思われる。

電車旅行

文化部長　森　憲一

夏休みの子供の健全育成の面からも、電車旅行を是非やっていただきたいと、前役員さんより申し送りが有り、五十一年度電車旅行を企画しました所、十四町五百八名の参加を得、参加各町の育成者の皆さんには、ひとかたならぬ御協力を願いどうも有りがとうございました。

天理教の九〇年祭とかち合い、行き先が変更となり、又、近鉄の佐藤さんとの話しのくいちがいもあり、皆さんの御期待にそえなかった事を、お詫び致します。

五十二年度の電車旅行については、実施日は七月三十一日の日曜日、行き先等の詳細は四月早々に、各町の育成者の皆さんと近鉄の佐藤さんを囲んでいろいろ話をつめていきたいと思っています。

諸物価高騰の折、少しでも安い金で子供を有意義に遊ばせて、非行防止に役立てていきたいと思っています。

新年度も皆さんの御協力を切にお願い致します。

健全育成は　みんなの手で

体育部長　木下　一郎

各地区の育成者の皆様方には、平素子供達の健全育成に努力されて居る事と思います。

又、子供会活動の中ですべての子供達が楽しく遊べる行事を一つでも多く考えて非行防止に努めたいと思います。

子供会は遊びを通じて子供の育成をし、その中から子供に社会性や自主性を身につけさせ明朗で正直な人間として成長する事が我々育成者の願いではないでしょうか。

又次代を背負う子供達の健全な育成は本当のボランティア精神をもつ人のみが出きる事だと思います。

こうした事を考える時　私達は、低学年から高学年に至る子供達が進んで参加出来る行事を計画して行かなければならないと思います。

去る二月二十日羽津地区青少協が実施いたしました書道大会など新しい行事は多くの子供が参加して一日を楽しく過せたのではないかと思いました。又高学年の部では特に中学生を対象とした行事を重点的に進めて中学生の不良防止に地域ぐるみで努めようではありませんか。

伊勢路の絶品
勇のちくわ
まる勇食品工業株式会社
代表取締役　篠田　勇
三重県四日市市富士町5-19
TEL　31－6471

植木鉢窯元
営業品目　盆栽鉢　鳥泥鉢
朱泥鉢　釉薬鉢
製造販売
法徳製陶㈱
四日市市大宮町20－20
TEL　31－2380㈹

スキー・ゴルフ・運動用品全般
阿倉川スポーツ
四日市市東阿倉川341－1　☎31－3604

御宴会御食事処
松乃屋
TEL　31－8731
羽津山町バス停前
喫茶
ハンブー
TEL　32－8063

順不同

オリエンテーリング

羽津町　山本　俊弘

この日は快晴に恵まれた。

オリエンテーリングの参加用紙を学校でもらった時、内容があまりよくわからなかったが、幸い、お父さんが育成の役員をしているのでくわしく聞くことができた。ぼくたちは、三人のパーティーで参加した。会場で、青少年対策課のおじさんの説明をよく理解し、小学生活最初で最後のOL大会が、開始した。十時三〇分スタート、第一組より一分間かくで出発した。さあ、ぼくたちの番だ。マスターマップの位置へ行ってすばやく地図に写し取り、ポイント一の所へと行くが、この競技は、徒歩でするのですが、どうしても足が速くなり役員のおじさんの姿がないと、走ってしまった。ぼく達のパーティー三人は五十米を八秒以内の速さなので足には自信がある。途中までは、五年生といっしょだったが、中場で五、六年ともはぐれてしまった。ぼく達だけになったと思って、歩いていたら、前方に一組のパーティーを発見。最後らへんになってポイントが見つからず行ったり来たりしていたが、地図のとおりに進むと、近くにポイントを見つけた。三、四組のパーティーもぼくたちの後を追って来た。最後のポイントを通過、いよいよゴールまで一直線。ぼく達のパーティーは歩いてゴールイン。計算係にカードを渡し、ロープにけい示される記録用紙が次々とふえて行った。結果はぼくたちのパーティーは、六年男子で一位決定され、閉会式では優勝タテをもらった。少年野球や三泗地区陸上記録会の優勝での思い出と共にOL大会の記念が一つふえて、とても楽しいOL大会でした。

地区OL大会に参加して

緑ケ丘　大沼、山本、久保田

秋に、別名の広場に、集合してOL大会が、開かれた。

私達三人は、はじめての、OL大会に、参加した。　OLということばは、何回も聞いたことはあるが内容は、まったく知らなかった。　方位じしやくの使い方、地図の見方もわからない。　六年生の人に、説明してもらったが、はっきりとは、わからない。もうならび始めたころ、私達は、

「どうしよう。どうしよう。」

と、迷っていた。もうみんなで、

「がんばろう。」

と、言って、ポイントの、写す所まで行った。そこにいたおじさんに、ヒントをあたえてもらった。

それから山道をてくてくと登って行った。第一ポイントを過ぎてしばらくして、大谷台小学校が見えてきた　私達だけ小学校の外側を通ってきてしまった　通ってきたのがよかったのかポイントが早く見つかった。また山の方へと向かって行った。とちゅうでえらくなってしまった。まだ十二個目のポイントがなかなか見つからない。

それはそのはず木のかげにかくれていたのだ。　中には通り過ぎた人もいたのだ。　私達は知っているおじさんのあとをついて行ったので、通り過ぎなかった。歩いていくと十三個めのポイントが、見つかった。十三個めのポイントの所に色をぬって、ゴールへと向かっていった。ゴールが見えてくると、急いで歩き始めた。ゴールに、近ずいてくると、もう私達より先に、ゴールに着いている人がいた。「二等になっちやったね。」と少しがっかりした。　着いて少したってから、発表の紙が張ってある所へ行った。見てみると私達が一等の所に張ってある。それは感げきであった。発表で名前をよばれた時は、とてもうれしかった。とても楽しい、オリエンテーリングだった。

日本石油特約店
三洋鉱油株式会社
日石羽津給油所☎31－8219　日石名四四日市給油所☎53－1592
☎32－0850　三洋カーウォッシュ☎31－8219

陶器ディナー食器製造
宮尾陶器株式会社
四日市市羽津中3丁目2－5　TEL〈0593〉31－9111(代)

とうふ・あげ・製造
すしあげ専門指定店
羽津　片岡食品
四日市市城山町　TEL　31－4303

スーパー　いぶき
大宮町20－3　TEL　31－7020

順不同

伊勢湾乗船

城山町　藤井　稚弓

八月四日、私は伊勢湾乗船にはちゆうせんに落ちたとばかり思っていたが、連絡があったので急いで用意をした。阿倉川駅で、みんなもう待っていた。

電車に乗って四日市まで行ってから、バスで四日市港まで行った。十二時ごろに、食堂でお弁当を楽しく食べた。少し休み、待ちに待った伊勢丸という船に乗ることになった。パンフレットや下じきなどをもらって船の中へ入った。気分が悪くなるといけないので、友だちによいどめの薬をもらって飲んだ。出発する時、テープを投げた。テープが色とりどりで、とてもきれいだった。

それからというものは、おみやげを買ったり、ジュースを飲んだりして遊びまくった。また、外で冷たい風に当たったりした。外の風は冷たかったので、とてもいい気持ちだった。水しぶきがたって船の通ったあとは、白いあわでいっぱいだった。

私たちは、一番悪い部屋だったけど、テレビもあって、思い切り、あばれられた。

もうすぐ松阪港に着くというころ、急にスイカが食べたくなり、時間もないのに食堂に入った。スイカを急いで食べたら、ウェイトレスが、友だちと一個ずつもう一度食べてと言ったので、私たちは、ただだと思い、少し食べた。そしたら、みんなはもう船から出ようとしていた。仕方がなかったので、私たちはそのまま残して船から出た。これが一番印象に残った思い出だ。今でも、あの時もっと食べておけばよかったなと思う。

伊勢湾乗船は、もうずっと前の事なので、あまり覚えていない。それにしても、たったの一日だったが、楽しかった。とてもいい思い出になったと思う。

伊勢湾体験乗船（八月四日）

OL大会に参加して

白須賀町　服部　祐子

OL大会の朝は早くから、起き出した。それは、「今日は、がんばらなくては。」という、気持からだった。

いそいで用意し、南川さんの家へ、さそいにいった。南川さんは、前のOL大会のとき、同じチームだった

「服部さん　前は、三位だったから、こんどは二位とろうね。」と、ちょっとじようだんみたいに言った。私も、心のなかで　思った。

それから、後藤さんをさそって柏木電業のグランドへ、自転車を走らせた。

ついてから、受けつけをすませ開会式をすませ、いよいよOL大会が、始まった。

私たちのチームは、女子の、最後から　二番目ぐらいに　出発となった。

ピッの合図で、出発した。地図をうつし　第一のポイントをさがしあて　第二のポイントも、さがしあてた。第三のポイントぐらいになると、わからなくなり、あせった。まるで、親鳥をさがす　小鳥のように。後藤さんがとつぜん

清酒ミヨトイシ　和洋酒・食料品
特約店　森源八商店
四日市市城山町8-18　TEL　31－2343

来る6月3日4日5日夏物大売出し
是非御来店下さい
綜合衣料品
ヤマモト
四日市市羽津町8-9(光明寺前)　☎31－5319

募集　女子絵付担当者
マルセ陶器㈲
四日市市羽津山町5-23　☎31－6994(代)

自動車鈑金・赤外線焼付塗装
霞自動車鈑金工業所
八田町1－7　TEL　31－0502

順不同

「あった。」といった。私たちはよろこびいさんで、その場へかけよった。

それから山をこえて、いろいろなポイントをこえた。そのとちゅうに、田のあぜ道を歩いて、どぶにおちたり、ころんだりした。

最後のポイントを、つけ、ゴールへと、いそいだ。足がなぜか、早くなってしまう。

ゴール。今のところ二位だった。だけど不安もなにもなかった。ただ力を合せてがんばったという、満足感でいっぱいだった。

お昼のお弁当が、おなかがすいていたせいかとっても、おいしかった。

お弁当を食べ終り、しばらくして、賞を、発表する時が、きた。

「二位、服部チーム」

と言う声が、きこえた。

「よかったね。よかったね。」

と、南川さんと手をたたいて、よろこんだ。

たてをもらい、参加賞をもらって家路へ自転車を走らせた。

自転車をこぎながら私は、OL大会に参加して、ほんとうに、よかったと思う。

それは、力を合せるということは、いかに大切なことかを、知ったからである。

今、私の家には、三位のたてと二位のたてが、二つならんで、かざってある。来年も、OL大会に参加してぜひ一位を、とりたい。

少年団体青少年指導者研修会
"オリエンテーリング"

大宮町　藤井園子

わたしは、少年団体青少年指導者研修会に参加して、一番印象に残ったことは、「オリエンテーリング」のことだった。

わたしは、オリエンテーリングに、参加するのは、はじめてのことだったので、あまりうれしくなかった。

こんな事に参加する位なら、いやな勉強でもしていた方が、ましだと思った。そして、いやだ、いやだと思いながらも、メンバー表を見ていた。

わたしは、一六番だった。みんな三人ずつの、メンバーだ。その中でも、わたしたちのグループは、五年生ばかりだった。ほかのほとんどの、グループは、六年生、又は、中学生の子が、混っていた。

なんだか、とても損をしているような気がしてならなかった。

そして、いよいよ、出発した。いろいろな所をさがし廻った。さがすのは、むずかしくなかったのだが、歩くのが、すごくえらかった。昨日始めて会った友達ばかりだけど、ゴールをめざして、キャッ！キャッ！と言いながら、いつのまにか熱中している自分に、気がついた。

最初遠りょしていたメンバーとも、いつの間にか仲よくなった。そしてとてもつかれきったという時に、やっと最後の地点にたどりついた。後は、ゴールに戻るだけだ。ついたとたんに、「ああ、やっと終った。」と思った。

みんなが帰ってきて発表があった。

あきらめていたわたしたちのグループが三位に入った。

とてもうれしくなぜか、その時から、オリエンテーリングに、自信がついたような、また今度機会があったら、ぜひ参加したいと思った。

昭和四日市石油株式会社
四日市製油所
専務取締役所長　小沢政久
四日市市塩浜町1　TEL 46－2111(大代表)

女子従業員募集(人形の絵付と包装)
丸英陶器株式会社
四日市市羽津山町14-3　TEL31－5639

四日市市食糧協業組合　ミエライス
伝統と信用をほこる
(有)服部清一商店
米穀・綜合食料品
タバコ・日用品
灯油・履物
別名町　TEL31－2342・1317

超耐熱陶器
(株)北勢窯業所
代表取締役　榊原　馨
四日市市南いかるが町6－7　☎31－0617

順不同

昭和五十一年度　事業報告

月日	項目	会場
5月5日	こどもふるさとまつり 羽津第一子供会参加	中央緑地 グランド
5月16日	総会	羽津小学校
7月25日～26日 26日～27日	キャンプ キャンプ）二六四名参加	羽津小学校 校庭
8月1日	電車旅行 十四町　五〇八名参加	鳥羽イルカ島
8月4日	伊勢湾体験乗船 各町子供会　一名参加	四日市港ー 松阪
8月8日	球技大会羽津地区予選 優勝　男子　別名町 優勝　女子　いかるが町	富士電機 グランド
8月14・15・16日	盆踊り	羽津小学校 校庭
8月21日～22日	球技大会　中央大会 別名子供会B　準優勝	かすみ緑地 グランド
11月3日	第四回羽津地区 オリエンテーリング大会 三〇〇余名参加	柏木電業 グランド
2月20日	第一回　書道大会 三五二名参加	羽津小学校 講堂

有難かった行事

小学校長　村木　明義

今年もあとしばらくで　新年度を迎えることになりますが、育成者の方に、地区の方々には、羽津地区子ども会の発展のため、健全育成のため、いろいろ計画　実施と大変な御苦労をかけています。子どもたちも、学校教育と共に、益々すこやかに伸びる姿に本当に喜しく思います。

先日も六年生の一部と、学校生活の六ケ年の思い出について話し合いましたが、子ども会育成行事に対してもいろいろと話し合いました。夏の校庭での野外キャンプ。特に集団生活に於けるきびしい規律、夏休みの、球技大会。暑い中で汗にまみれながら、地区の名誉にかけて張り切り、頑張った競技又秋の垂坂山でのオリエンテーリングの野外での競技、その他に行れた町別のそれぞれの楽しかった行事　それらが大変勉強になり、経験も深まり有意義な行事で有難かった。小学校は卒業しても出来る行事は参加したいとの声も多かったことは、子ども会の行事に子ども達が大変魅力を感じていることが伺うことが出来た。其のほか育成に関しては、羽津少年野球、羽津スイミングクラブ一部の児童はこれらに参加し、体を鍛え技をみがいていることなど。

これらの御世話には、大変なご苦労をかけていることになりますが、将来を背負う児童達です。学校教育とともに一層活発な活動によって　豊かな精神とたくましい体を育てる力となってほしいものです。

意慾と経験

副会長　山本　俊一

昨年、青少協本部役員、人身一新し、突然私に副会長の大役を要請され、この役職をふるに活用出来るかいさゝか疑問であったが一大決心し、育成者として躍進への希望を持ってこの役を受けるに至りました。

今年度青少協諸事業を無事終えて反省してみるに、過去五年間育成部員の経験者でありながら、又育成部員を去ってから五年の年月が流れる内に、キャンプは大門池より羽津小での校庭キャンプに移行され、本部役員となって初めて耳にしたオリエンテーリング等、それぞれの事業すべて経験と教養でありました。これを次年度への指針として青少協活動に取り入れて行きたいと思って居ります。

又部会においては、第一回部会に取り決めた時間励行を最後の部会まで実行していただいた。各部員の協力に深く感謝する次第です。

これも次年度の各部員への引き継ぎ事項の一つに加えて下さる様御願いします。

青少協各部長も、本年度事業を部長として初めて経験し、次年度は充実した事業をと意欲に燃えて居ります。変らぬ部員諸氏の協力を御願いする次第です。

子どものための善意銀行

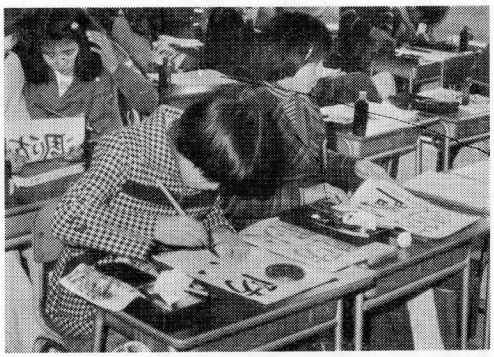
書記　村瀬　重行

平素は善意銀行のためご理解を戴き、今年の〝善意の袋〟には、皆様の温い善意によりまして、多額の現金を預託させて戴くことが出きました。厚く御礼申し上げます。

善意は、昭和三十八年十二月十五日、子供会育成者連絡協議会の努力により設立され、町単位子供会が会員となり、青少年に皆さんの温い善意を与え、望ましい人間形成への一助として健全育成を計り、子ども達の幸福を計るのが、善意銀行の目的です。

預託（寄付）された現金、物品などは、次のように貸付（載く）られます。団体活動災害見舞、団体活動に対する助成などです。

預託、貸付を希望される子供会は、羽津青少協まで申し出て戴きたいと思います。



第一回　書道大会（二月二十日）

二月二〇日に行われました　第一回書道大会には、三百五十二名の参加者があり、特に一、二年生に多くの出席者が目立ちました。

青少協行事への参加を！

広報部長　石丸　照子

昨年四月、広報部長に任命されて以来、それらしい仕事もせずにやがて一年が過ぎようとしています。

今年〝広報〟が発行されるこの機会に是非父兄の皆様方に知って頂きたいと思い、上手に表現出来ませんが、一言申し上げます。

実は私自身今の大役を仰せつかるまで、青少協なるものを良く知りませんでした。且て子どもが、キャンプにあるいはオリエンテーリングに楽しんで参加した蔭には役員の方々のご苦労があった事を今になって感謝致しております。

だれでも経験があると思いますが、少年少女時代の思い出は何時話題にしても大変なつかしいものです。そして、終生忘れる事なく思い出すことと思います。この想い出をより深く、楽しくする為に育成者の方々のご協力によって、少年少女時代の想い出の場面を側面的に作り出すのが、この青少協だと思います。勿論その外に不良化の防止、団体活動による人間関係の育成等種々の問題もあります。

前述の少年少女の頃の想い出で一番楽しいのは、何んといっても団体行動であり、それ等は家庭だけでは出来ない事であります。

従いまして、この機会に青少協の存在を深く認識して頂き、皆様方のご理解とご協力をお願い致しますと共に、行事のある時は、出来るだけ都合をつけて、お子さまの参加出来るようにしていただきたいと思います。

昭和五十二年度　本部役員名薄

会長　藤井泰治郎
副会長　奥　高一
　　山本　俊一
書記　村瀬　重行
　　内山　治男
会計　藤井　郁子
体育部長　木下　一郎
野外活動部長　伊藤　次弥
指導部長　長島　敏
文化部長　森　憲一
広報部長　石丸　照子
補導部長　竹尾　栄
監査　藤井　勝見
　　荒木　吉夫
市青少年育成推進員　森　安吉

編集後記

今回青少協広報発行にあたり、関係各位子供会の皆様の御協力を得ました事を深く御礼申し上げますと共に今後も青少協行事と活動に御理解と御指導を御願い致します。

編集子